

平成27年 第16回帯広市教育委員会会議録

1. 平成27年10月26日月曜日 17時30分～18時15分
帯広市教育委員会会議を帯広市役所 教育委員会室に招集する。

2. 本日の出席委員

教育委員長	田	中	厚	一
教育委員	門	屋	充	郎
教育委員	伊	藤	成	昭
教育委員	藤	澤	郁	美
教育長	八	鍬	祐	子

3. 本日の議事日程

日程第 1 会議録署名委員の指名について

日程第 2 議案第 58 号 平成28年度帯広市立高等学校の入学者募集について

日程第 3 報告第 16 号 とかちジュニア文芸第6号応募結果について

日程第 4 その他(1) 帯広市議会9月定例会の報告について

その他(2) 平成27年度教育懇談会の開催について

その他(3) 今後の事業予定について

その他(4) 寄附受納について

その他・平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について

・平成27年度帯広市小中学校読書アンケート調査結果報告書について

日程第 5 議案第 59 号 平成27年度市民文芸賞及び市民文芸準賞の決定について【非公開】

田中委員長

これから、平成27年第16回帯広市教育委員会会議を開会いたします。

出席委員は全員であります。

会議は成立しております。

ここで諸般の報告をいたします。

(福原課長 報告)

日程第1、会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は、伊藤委員及び藤澤委員を指名いたします。

日程第2、議案第58号、平成28年度帯広市立高等学校の入学者募集についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

嶋崎 部長

議案第58号、平成28年度帯広市立高等学校の入学者募集についてご説明いたします。議案書は1ページでございます。本件は平成28年度帯広市立南商業高等学校の入学者選抜につきまして、募集内容を定め、告示しようとするものであります。平成27年9月29日付で道立高等学校の入学者選抜実施要項が定められた旨の通知を受けまして、本校実施要項を作成いたしました。平成28年度帯広市立南商業高等学校入学者の募集内容につきましては、このとおり定めるものであります。以上よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

田中委員長

これから質疑に入ります。

各 委 員

ありません。

田中委員長

別になければ質疑を終結します。

お諮りいたします。

議案第58号、平成28年度帯広市立高等学校の入学者募集については、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

各 委 員

異議なし。

田中委員長

ご異議なしと認め、議案第58号は決定されました。

日程第3、報告第16号、とちかちジュニア文芸第6号応募結果についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

神田 部長

報告第16号、とちかちジュニア文芸第6号応募結果についてご説明いたします。議案書は11ページ及び12ページでございます。とちかちジュニア文芸は、星槎大学のご協力を得て第1号から第5号まで、ジュニア文芸として発刊してまいりました。本年度は市の直営事業となりましたが、これまでの実績を引き継ぎまして、第6号の発刊となります。発刊にあたり作品を募集したところ、260作品、応募者数としては197名の応募がございました。応募の傾向といたしましては、ここ数年応募数が伸びておりましたが、本年は昨年度より約30作品減っております。これは学校単位で文芸活動

に取組み、作品を応募した学校が昨年度は10校でしたが、本年は7校に減ったのが要因と考えます。その中でも今回新たに応募があった学校が3校あり、少しずつではありますが、十勝管内の各学校に浸透しているものと考えます。また、併せまして、本年度より文芸誌の表紙絵も募集したところ、20作品の応募がございました。今後の日程につきましては、11月28日のとちぎジュニア文芸誌編集委員会において、入選作品並びに推薦作品の選考を行い、12月の教育委員会での決定を経まして、来年2月21日に贈呈式を執り行う予定でございます。報告は以上であります。

田中委員長
各委員
田中委員長

これから質疑に入ります。

ありません。

別になければ、質疑を終結し、本件を終了します。

日程第4、その他に入ります。

その他(1)帯広市議会9月定例会の報告についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

これから質疑に入ります。

広瀬調整監

議案書13から15ページでございます。帯広市議会9月定例会におけます教育委員会に係ります質疑のうち、学校教育に関する質疑の概要についてご報告いたします。今回、一般質問20名中6名、議案審査特別委員会11名中3名、決算審査特別委員会12名中9名の議員からご質問がございました。はじめに一般質問、西本議員には、帯広市の小中学校とも学力の2極化と基本的な生活習慣に課題がみられること、一人ひとりに応じたきめ細かな指導の充実と家庭との一層の連携が重要であること、学校での食育の取組み、危機管理の取組み、防災教育などを答弁してございます。次に菊地議員には、帯広市小中学校適正配置計画によりますこれまでの経緯、適正規模及び適正配置の考え方、小中一貫教育の考え方、今後については学校施設の長寿命化、公共施設マネジメント計画の視点も踏まえ、適正規模及び適正配置の新たな方針等を構築していく必要がある旨などを答弁してございます。次に、杉野議員には、帯広市子どもの読書推進計画においての学校図書館の位置付け、高学年ほど貸出冊数が少ない原因と対策、専任の学校司書の配置の考え方についてなどを答弁してございます。次に今野議員には、18歳選挙権を受けての小中学校での主権者教育については、小中学校での取組みや児童生徒の代表が一堂に会し行われる「いじめ非行防止サミット」、教師の資質の向上に向けた取組みの充実などを答弁してございます。次に播磨議員には、本年7月に実施した通学路合同点検の結果とその対応については、11件中ハード的な対応が困難な5件につきましては、教職員やボランティアの見守り活動や安全マップ

等による啓発などソフト的な対応により通学路の安全に努めていく旨の答弁をしております。次に石橋議員には、学校給食での食育の推進につきましては、親子で給食メニューを作る体験教室の実施や栄養教諭などによります給食指導・教科指導、地元農協青年部との食育活動の連携、帯広産小麦 100%のパンや麺の提供、市民団体などとの新メニュー開発のほか、生産者や食品加工業者、関係機関と連携し、地元産食材活用の拡大を図り、魅力ある給食の提供に努めていく旨を答弁しております。次に議案審査特別委員会では、大竹口議員、大塚議員、稲葉議員から、給食センター燃料費の補正につきまして、予算計上のあり方などについてご質問があったところでございます。次に決算審査特別委員会では、大林議員ほか8名から、いじめ・不登校、エリア・ファミリー・特別支援教育、体験学習、命の教育、絆を育む学校づくり、学校給食、教職員住宅、奨学金、学校トイレの洋式化、就学援助などについて、平成26年度の状況と今後の考えなど多様にわたるご質問がございました。学校教育部に関する報告は以上でございます。

葛西調整監

続きまして、生涯学習部に関する質疑の概要についてご報告させていただきます。今回、一般質問20名中3名の議員から、決算審査特別委員会12名中3名の委員からご質問がございました。はじめに一般質問、13ページでございます。山田隣太郎議員のご質問で、郷土前史の歴史科学論的評価と学校教育との関わりにつきましては、大正3遺跡から発見された北海道最古の土器を百年記念館常設展示室で紹介・解説していることや旧石器時代に始まる郷土の歴史を的確に認識し理解することは、大変意義深いとの認識を答弁しております。14ページ、鈴木正孝議員のご質問で、スポーツ政策につきましては、新しい総合体育館の整備に関し、実施方針案の事業者説明会の開催状況や要求水準書原案の今後の事業者説明の進め方、また、スポーツ大会・合宿誘致、NTCの指定に関し、指定管理者との協議をとおして柔軟な対応を行っていることや2017冬季アジア大会の成功に向けて取組むことなどを答弁しております。次に村田光成議員のご質問で、動物園の管理運営及び施設整備計画につきましては、安定的な繁殖活動に取り組むため、飼育技術の向上に努めることや将来的な施設整備にあたっては、幅広い視点での検討が必要なことなどを答弁しております。また、15ページの決算審査特別委員会では、西本議員から、市民大学講座等における食育教育の重要性について、有城議員から、ワールドカップ・スピードスケート競技会の開催効果と今後の取組みについて、杉野委員から、図書館における利用拡大策や専門職員の配置について、それぞれご質問いただいたところでございます。生涯学習部に関する報告は以上であります。

田中委員長
各 委 員
田中委員長

これから質疑に入ります。

ありません。

別になければ、質疑を終結し、本件を終了します。

その他（２）平成２７年度教育懇談会の開催についてを議題といたします。

嶋崎 部長

平成２７年度教育懇談会の開催についてご説明いたします。議案書は１７ページでございます。教育懇談会につきましては、教育行政に関する情報提供や市民との意見交換を行いますことにより、開かれた教育委員会づくりをすすめるため開催するものでございます。今年度につきましては、１１月４日から１１月２５日までの期間、コミュニティセンターなどの市内６ヵ所で開催いたします。日程、会場、当日の出席委員につきましては、記載のとおりでございます。時間はいずれも１時間半を予定してございます。当日の進め方については、司会は両部の企画調整監から当日の簡単な流れについてご説明した後、出席の各委員の皆様から簡単な自己紹介をしていただきたいと思います。その後、教育委員会の主な取組みにつきましては、１９ページの資料を用いまして、八鍬教育長から話題提供として簡単に紹介していただき、それらの質疑応答を含め、特にテーマを設けずに、教育全般に関する様々な意見交換を行いたいと考えてございます。教育委員の皆様のお席につきましては、毎回委員２名に教育長を加えました合計３名の出席をお願いしたいと考えてございます。説明は以上であります。

田中委員長
各 委 員
田中委員長

これから質疑に入ります。

ありません。

別になければ、質疑を終結し、本件を終了します。

その他（３）今後の事業予定についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

広瀬調整監

議案書２０ページ、２１ページでございます。学校教育部の事業予定についてご紹介いたします。まず、記念式典が明星小学校、第七中学校で行われます。次に１１月８日にキッズタウン２０１５がとかちプラザで行われます。子どもたちが職業体験にチャレンジするというところで、今のところ２８ブース、２５社を予定してございます。次に中学生からのメッセージということで、各学校の代表生徒が日頃の体験や考えを発表するものでございます。その他公開研究会が引き続きございまして、公開研究会等につきましては１１月で終了する予定でございます。以上でございます。

葛西調整監

続きまして、生涯学習部の事業予定についてご説明いたします。まず、文化課になりますが、１１月３日、今年度の文化活動功労賞の贈呈式を予定してございます。ご出席よろしく願いいたします。次に図書館ですが、１０月２７日から１１月８日まで読書週間にち

なみ関連する様々な事業が行われますが、その中で22ページのビブリオバトルにつきましては、知的書評合戦と言われるもので、初めての取組みで11月7日に予定してございます。23ページの第55回帯広市児童生徒読書感想文コンクール表彰式を11月21日に予定してございます。募集・入選概要につきましては、本日お手元に配付してございますので、後ほどご覧いただければと思います。次に24ページ、百年記念館ですが、収蔵作品展、絵画のどうぶつ園を11月6日から29日まで開催いたします。記念館で収蔵している作品のうち動物を題材としている絵画などおよそ40点を展示する予定でございます。次に25ページ、動物園が11月3日をもって夏期開園終了となっております。次にスポーツ振興室では、4回目となりますフードバレーとかちマラソンが11月1日に予定されているほか、ジャパンカップスピードスケート競技会第1戦が11月13日から15日まで予定しております。26ページでは、4館連携事業につきましては、ご覧のとおり5件の事業を予定してございます。以上です。

田中委員長

これから質疑に入ります。

私から1つ伺いたいのですが、初めてビブリオバトルを開催されるということですが、定員20名の方がビブリオバトルに参加するという意味でしょうか。それとも聞いていて審査する方も合わせて20名という意味でしょうか。

本江 館長

ビブリオバトルという言葉自体がまだ浸透が薄いため、今回のこの事業は体験的な意味合いを持っており、20名全員に自分の紹介したい本をお持ちいただき、4、5名のグループに分かれ、それぞれ自分の本を5分程度プレゼンし、質問を受け、その中でチャンプを決める形で実施したいと考えております。2時間程度を予定しておりますので、グループ替えをし、2回ほどビブリオバトルの体験し、新たな本に出会える機会を作ればと思っております。以降、正式なオーディエンスと発表する方を分けた形では徐々に行っていきたいと考えています。

田中委員長

それでは、完全に20名で行うということですね。

本江 館長

はい。そこまで集まるかどうか分かりませんが。

田中委員長

地方の図書館でもやられているので、集まるのではないかと思いますよ。このビブリオバトルで扱う本は図書館所蔵のものか確認はしているのですか。

本江 館長

当日持参していただくということで、申し込みも受けますので、蔵書しているかどうかは確認したいと思います。

田中委員長

終了後に私も借りたいという方が出てくるかもしれませんよね。

本江 館長

そういったことに繋がっていけばと考えております。

藤澤 委員

児童生徒読書感想文コンクールについては、学校単位で出すのか、

全くの個人で応募するのか、教えていただきたいと思います。

本江 館長

募集につきましては、市内小・中学校を通じての取組みになります。主催につきましては、帯広市学校公共図書館研究会を帯広市図書館となっておりまして、審査等につきましては、研究会で担当していただき、文集の印刷等は図書館で担当しております。以上です。

藤澤 委員

分かりました。

田中委員長

他になければ、質疑を終結し、本件を終了します。

その他（４）寄附受納についてを議題といたします。

福原 課長

企画総務課の寄附２件についてご報告いたします。議案書は２８ページでございます。市内在住者の方から全自動洗濯機１台を平成２７年８月２０日、帯広市立広陽小学校の教育の環境の一層の充実を図るためとしてご寄附いただきました。２件目は帯広市立東小学校開校６０周年記念事業協賛会様から、１０月１８日に屋外ソーラー時計１台、網戸３０枚、７５万１千円相当、帯広市立東小学校の教育の一層の充実を図るためご寄附いただきました。以上です。

村木 課長

学校教育課より３件の寄附をご報告いたします。１件目は大阪市の銀座まるかん柴村グループ代表、柴村恵美子様より、平成２７年９月１日に図書１６冊、１万７,２８０円相当、市内中学校の教育環境の充実を図るとともに、生徒の読書活動に活用してもらうためとしてご寄附いただいたものでございます。２件目は帯広市、帯広・十勝の民話を伝える会コロポックルの会代表、堀口ひさ子様より、９月２４日に図書４７冊、１４万１千円相当、南商を含めた帯広市立学校４１校、市立図書館、帯広百年記念館の蔵書環境を整備するとともに、民話をより身近に感じてもらうため、ご寄附いただいたものでございます。３件目は匿名の方から、１０月７日に現金３万円を学校教育の振興のための奨学事業や教育の研究のためということで、教育振興基金に積み立てする予定でございます。以上です。

増子 課長

文化課から寄附１件をご報告いたします。平成２７年１０月５日に東京都杉並区在住の〇〇〇〇様より、現金５万円を風土に根ざした文化振興のためとしてご寄附いただいております。〇〇〇〇様は１万円から５万円の金額を平成２１年から毎年ご寄附いただいております。ふるさと文化基金、ばんえい競馬振興基金に積み立てさせていただいております。今回につきましても、ふるさと文化基金に積み立て活用させていただく予定でございます。以上です。

本江 館長

図書館から寄附６件をご報告いたします。帯広市の〇〇〇〇様より、平成２７年９月２８日に現金５０万円のご寄附をいただきました。建築関係及び世界遺産等の図書を購入してほしいという趣旨で図書館図書整備基金に積み立てしてまいります。２件目は札幌市在住の〇〇〇〇様より、１０月３日に２０万円を図書購入費に充ててほしいという趣旨でご寄附いただきました。基金に積み立てしてまいりま

す。続きまして、帯広市、文芸サークル萌えの会主宰、東館千鶴子様より、10月6日にチャリティコンサートの益金としまして、1万8,145円をCDブック・大活字本を購入してほしい旨の趣旨でご寄附いただきました。4件目は帯広市在住の〇〇〇〇様より、10月7日に18万円を図書購入費に充ててほしい旨の趣旨でご寄附いただき、基金に積み立ててまいります。続きまして、北海道帯広市南商業高等学校生徒会会長、滝田絵美花様より、10月9日に高校生向け図書35点、4万8,056円相当、学校祭の模擬店の収益で購入し、高校生向け図書をご寄附いただいたものです。続きまして、幕別町、国際ソロプチミスト帯広みどり会長、田中静江様より、10月14日にロールスクリーン一式、21万6千円相当を歳入活動の益金を地元で役立てるため、図書館の児童室において活用してほしい旨の趣旨でご寄附いただきました。ロールスクリーンにつきましては、今後、絵を募集し、来年3月3日の10周年記念の一環としてお披露目を予定しております。以上です。

高橋 園長

動物園の寄附1件についてご報告いたします。釧路市、釧路信用金庫理事長、佐藤禎一様より、平成27年10月15日に計量機一式、91万2,600円相当のご寄附をいただきました。釧路信用金庫の創業90周年にあたり、営業区域である帯広市に地域貢献として寄附の申し出がありました。一昨年キリンがおびひろ動物園から釧路市動物園へ移動した例もあり、動物園の発展のために動物用の計量機一式のご寄附をいただいたものでございます。以上です。

田中委員長
各 委 員
田中委員長

これから質疑に入ります。

ありません。

別になれば、質疑を終結し、本件を終了します。

事務局から、その他説明事項はありますか。

橋場 部長

平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について、特に資料はございませんが、ご報告させていただきます。先の教育委員会議におきまして、全国学力・学習状況調査の結果公表に係わり、北海道教育委員会の行う市町村の結果の公表については昨年度と同様、帯広市教育委員会として同意する旨のご報告をしたところでございますけれども、このたび体力・運動能力等調査の結果についても、同様の照会文書が届きまして、これにつきましても学力調査に準じて同意する旨返答することといたしましたのでご報告いたします。報告は以上です。

本江 館長

本日お手元に配付させていただきました平成27年度帯広市小中学校読書アンケート調査結果報告書の概要についてご報告させていただきます。第三期帯広市子どもの読書活動推進計画に基づきまして、帯広市の小中学生の読書傾向を調査し、今後の読書活動の推進に資することを目的としたものでございます。1ページ2に記載の

とおり、対象は小学校4年生から中学校3年生までとし、小中合わせて2,175人を調査いたしました。調査数の内訳と学校一覧は記載のとおりでございます。今回の調査の特徴としまして、15ページの考察をご覧いただきたいと思っております。2番目から先にご説明させていただきますが、第三期子どもの読書活動推進計画の指標として、読書が好きな児童生徒の割合は、小学生87.7%、中学生82.6%、いずれも増加しました。また、家庭などにおいて平日一日あたり10分以上読書をする児童生徒の割合は、小学生は69.5%、中学生は若干下がり63.9%となっております。1年おいての調査ですので、今後こちらの推移を見守りたいと思っております。考察にも書かせていただきましたが、全国と比べて帯広市の小中学生は読書の好きな割合が多い傾向ですけれど、10分も読まない子どもは、まだかなりおります。今後の取組みとしまして、2番の表の上のところに、1ヵ月間の読書冊数と家の人に本を読んでもらった割合を今回クロス集計した結果、小・中学生ともに、1ヵ月間の読書量が多いほど、幼児期によく読んでもらったと回答しており、幼児期の読み聞かせはその後の読書量に影響を及ぼすと考えられます。こうしたことから、家庭・地域・学校などとの関係機関が連携、協力して、効果的に諸事業を推進していくことが重要と考えております。具体的には計画の中でも事業として上げさせていただきました、家読を今年度開始の予定でございます。学校教育部、帯広市PTA連合会と連携、協議し、冬休み期間を活用して、具体的に事業を展開していきたいと考えております。今回、携帯電話、パソコン等で本を読んでいる割合も調査させていただきました。学年が上がるにつれて利用率が高くなっており、小学4年では2.6%、中学3年生では12.5%となっております。こういった実態もわかったところでございます。以上です。

田中委員長

何かご質問等はございますか。

私から1点確認したいのですが、平成26年度から27年度にかけて、読書をする割合が小学生では増加したということですが、中学生は若干落ちたということですよ。5%弱落ちているということはどう考えたらいいのでしょうか。

本江 館長

毎年調査する学校は児童生徒の構成割合で変わっており、1年だけで全体の傾向として判断していいのか難しいところもございますので、図書館としては経年で見えていくことが大事だと考えております。

橋場 部長

今の話がありましたように、数字につきましては、学校や年度によって多少の違いはあると思っております。数字については我々も意識しながら、読書の働きかけをしてしなければいけないと考えております。

田中委員長

他になければ、質疑を終結し、本件を終了します。

ここで会議の進め方についてお諮りいたします。

次の日程第5の案件については、帯広市教育委員会会議規則第16条第1項第6号により、非公開にしたいと存じます。

これにご異議ありませんか。

各 委 員
田中委員長

異議なし。

ご異議なしと認め、そのとおり取扱いいたします。

これより会議を非公開といたします。

日程第5、議案第59号、平成27年度市民文芸賞及び市民文芸準賞の決定についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

神田 部長

議案第59号、平成27年度帯広市市民文芸賞及び市民文芸準賞の決定についてご説明いたします。議案書は、3ページから10ページでございます。本件は平成27年度帯広市市民文芸賞及び市民文芸準賞につきまして、帯広市市民文芸誌に関する規則第3条の規定に基づきまして、決定しようとするものでございます。今年度の市民文芸第55号の発刊にあたり、作品を募集しましたところ、1,069作品、応募者数としては93名の応募がございました。去る9月18日に帯広市市民文芸誌編集委員会を開催し、市民文芸賞及び市民文芸準賞の推薦選考を行ったところ、市民文芸賞につきましては、川柳「夏の陣」、市民文芸準賞につきましては、童話「ちびドングリの森」を推薦するということとなったものでございます。なお、同時に選考しました入選数、市民文芸第55号への掲載数につきましては、議案書9ページの記載のとおりでございます。なお、贈呈式は12月5日午後2時より十勝ガーデンズホテルにおいて執り行う予定でございます。説明は以上であります。

田中委員長
各 委 員
田中委員長

これから質疑に入ります。

ありません。

別になければ、質疑を終結します。

お諮りいたします。

議案第59号、平成27年度市民文芸賞及び市民文芸準賞の決定については、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

各 委 員
田中委員長

異議なし。

ご異議なしと認め、議案第59号は決定されました。

事務局からの説明は以上ですが、この際、各委員から他にご意見、ご質問等があれば、お受けいたします。

各 委 員
田中委員長

ありません。

別になければ、本日予定されておりました案件は、すべて終了しました。

以上で平成27年第16回帯広市教育委員会会議を閉会いたします。